

調べかたガイド: 各区版

此花区の調べかた

此花区の史跡・名勝・建築

こうのいけぐみ
— 鴻池組旧本店洋館・和館 —

此花区の人物・伝説 — 中谷徳恭 —
なか や とくきょう

此花区の民俗・文化 — 正蓮寺の川施餓鬼 —
しょうれんじ かわ せ が き

此花区のにぎわい — 工業都市今昔 —

此花区マスコットキャラクター
このはちゃん



この調べかたガイドでは、此花区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID 大阪市立図書館の「書誌ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

此花図書館に所蔵しているものは、**ID**の前に*をつけて表示しています。(*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

小学生から読めるものはID番号の後に📖をつけています。

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。
図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。

より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

大阪市立此花図書館

〒554-0014 大阪市此花区四貫島1-1-18

TEL 06-6463-3463

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

此花区の調べかた

Ver. 3 2023. 10改訂

此花区の史跡・名勝・建築

—^{こうのいけ}鴻池組旧本店洋館・和館—

鴻池組旧本店洋館は、1910(明治43)年に今の伝法町4丁目に鴻池組本店社屋として建てられました。大正時代に流行したセッションスタイルをとり入れたモダンな外観の洋館です。1982(昭和57)年12月、日本建築学会より全国重要建築物2000棟の1棟に選定されました。また、鴻池組旧本店和館は、洋館と同時に建築された伝統的な大阪町屋で、洋館とは内部で行き来ができます。洋館・和館の内部は当時著名な彫刻家であった相原雲楽の彫刻物で装飾されています。2022(令和4)年、国の登録有形文化財に登録されました。

『鴻池組社史』 鴻池組社史編集委員会 1986

*ID 0070052045

『鴻池組150年史 = KONOIKE 150』 鴻池組 2021

ID 0015162861

鴻池組旧本店特設サイト

<https://www.konoike.co.jp/dempo/>

「鴻池組旧本店洋館」 鴻池組より写真提供

此花区の人物・伝説 —^{なかやとくきょう}中谷徳恭—

中谷徳恭は、1872(明治5)年に春日出新田など6カ村の戸長を22歳の若さで勤めました。のち、1898(明治31)年、当時の西区から大阪市会議員、議長(第二十七代)を経て、大阪府会議員、議長となり、1915(大正4)年の総選挙で、衆議院議員に当選しました。衆議院議員在職中は、日本染料(現住友化学)を春日出新田に誘致し、また大阪北港の開発に参画した人物です。1921(大正11)年に71歳で没しました。

『中谷徳恭戸長日記』 中谷徳恭著 大阪市史編集所編
大阪市史料調査会 1982 *ID 0070052007「中谷徳恭 第壹号掌記」(『大阪の歴史』第5号 1982
p. 67-100) ID 5100000969「中谷徳恭 実地取調雑記・仮日記」(『大阪の歴史』第6
号 1982 p. 83-107) ID 5100000970此花区の民俗・文化—^{しょうれんじ}正蓮寺の川^{かわ}施^せ餓^が鬼—

正蓮寺は、1625(寛永2)年に開かれました。正蓮寺が有名になったのは、1721(享保6)年に「伝法の川施餓鬼」と呼ばれた川供養の行事を始めてからです。今では、長崎、富山と並んで日本三大施餓鬼の一つになりました。正蓮寺川が埋め立てられたため新淀川で、毎年8月26日に行われています。水都大阪らしい遺風を伝えた盆の行事であり、大阪市の無形民俗文化財に指定されています。

『大阪史蹟辞典』 三善貞司編 清文堂出版 1986

*ID 0000214926

『祭礼行事 -都道府県別-大阪府』 高橋秀雄編 桜楓社
1993

*ID 0000307051

大阪市：正蓮寺の川施餓鬼

<https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000009077.html>

此花区のにぎわい —工業都市今昔—

JR大阪環状線西九条駅でゆめ咲線に乘換え、2つ目の駅で下車すると、国内外からの来訪者でますますにぎわう、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンがあります。さらに足を伸ばすと、舞洲スポーツアイランドがあり、高校野球等に利用されるベースボールスタジアムや、舞洲アリーナなどがあります。

そんな此花区も、明治時代後期から戦争を経て昭和の後期までは、西六社(住友電気工業・住友金属工業・住友化学工業・日立造船・汽車製造・大阪瓦斯)をはじめ、巨大工場が集積する重化学工業のまちでした。1955(昭和30)年の此花区は、約64%が工場地域であり、工業生産額も大阪市内で1位でした。その後、産業構造の変化を受けて、工場の移転があり、それらの跡地にユニバーサル・スタジオ・ジャパンなどがオープンしました。

『此花区史』 大阪市此花区役所編 大阪市此花区三十周年
記念事業委員会 1955

*ID 0000228462

『此花いまむかし』此花区創設50周年記念事業実行委員会
1975

*ID 0090011064

『写真で見る此花区-大阪市制100周年記念-』此花区コ
ミュニティ協会 1990

*ID 0000367660

『目で見る此花の“昨日今日明日”』 大阪市此花区役所
2008

*ID 0011718154

『このはなお宝いっぱい!プレミアム-まちを知って自慢し
よう!-』 大阪市此花区役所 2013

*ID 0012734280

『このはなお宝いっぱい!プレミアム-まちを知って自慢し
よう!-』 こども版 大阪市此花区役所 2013

*ID 0012734275

